

平成31年度

# 事業計画書・収支予算書

平成31年4月1日から  
平成32年3月31日まで

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

## 平成 31 年度 事業計画

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟 (JAO) は、昭和 47 年の設立以来、全国のアマチュアオーケストラとその活動に携わる人々を支援する事業を推進してまいりました。

JAO の主な事業には、「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」、「高円宮殿下メモリアル日本マスターズオーケストラキャンプ」、「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」、「トヨタコミュニティコンサート」等があります。これらのどの事業も、《音の泉の広がり》を合言葉に、全国の仲間たちが演奏する喜びを分かち合いながら、各地のアマチュアオーケストラの振興を通じて、地域社会に貢献し、音楽文化の発展に寄与するものとなっています。

また、青少年から中高年齢層までの幅広い世代を対象とした JAO の事業は、青少年教育や、シニア世代のゆとりや生き甲斐づくりに貢献し、生涯学習社会の形成に寄与することを特色としています。

平成 31 年度に実施する事業の計画は以下のとおりです。

### I. 運営の部

#### 1. 理事会

- ① 平成 31 年度第 1 回通常理事会 平成 31 年 4 月 27 日 (土) 於 上野精養軒
- ② 平成 31 年度第 2 回通常理事会 平成 32 年 2 月 29 日 (土) 於 上野精養軒

#### 2. 社員総会

平成 31 年度定時社員総会 平成 31 年 5 月 25 日 (土) 於 上野精養軒

### II. 事業の部

#### 1. 全国アマチュアオーケストラフェスティバルの開催

「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」は、JAO 設立の翌年 (昭和 48 年) の豊橋大会を皮切りに、毎年全国各地を巡り開催しております JAO の主要事業です。

オーケストラ音楽を愛好する人々が集い、3 日間の日程の中で演奏技術の研鑽を積み、フェスティバルオーケストラとして演奏会を開催するほか、オーケストラ運営に資するためのフォーラムや研究討議等を行います。

また、JAO はフェスティバルを国際交流の場とすることにも取り組み、海外参加者を集いアジアフェスティバルや世界フェスティバルとしての開催実績を積んでおります。

<平成 31 年度実施計画>

名称	第 47 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル久留米大会
期間	平成 31 年 7 月 26 日 (金) ~ 7 月 28 日 (日)
会場	久留米シティプラザ ザ・グランドホール
内容	<p>①フェスティバルコンサート (7 月 28 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェスティバルオーケストラ A 指揮：寺岡清高 コンサートマスター：双紙正哉 曲目：リムスキー=コルサコフ作曲 スペイン奇想曲 R・シュトラウス作曲： 「薔薇の騎士」組曲</li> <li>・ フェスティバルオーケストラ B 指揮：秋山和慶 コンサートマスター：近藤 薫 曲目：マーラー作曲 交響曲第 9 番ニ長調</li> </ul> <p>②運営協議会 JAO 事業及び加盟団体の運営等に関する会議を開催</p>

2. マスターズオーケストラキャンプの開催

平成 12 年に第 1 回を開催した「高円宮殿下メモリアル 日本マスターズオーケストラキャンプ」(MOC) は、当初はシニア世代が交流を深めながら演奏技術を向上させるための研修会として開催してまいりましたが、第 12 回より年齢による制限をはずし、各オーケストラの現リーダーや、次世代を担うリーダーを養成することも MOC の重要な役割となりました。

第 2 回 MOC にご来臨くださいました当時の JAO 総裁 故 高円宮殿下は、MOC に格別のご関心を示されておりました。MOC の前途に大きな期待を抱かれていた殿下のご遺志を尊重し、MOC の名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠しております。

<平成 31 年度実施計画>

名称	高円宮殿下メモリアル第 20 回日本マスターズオーケストラキャンプ
期間	平成 32 年 1 月 11 日 (土) ~ 13 日 (月・祝)
会場	京都府立府民ホール アルティ
内容	<p>講師：大山平一郎、金子鈴太郎</p> <p>曲目：エルガー作曲 序奏とアレグロ ウェーベルン作曲 弦楽四重奏のための緩徐楽章 ウォーロック作曲 カプリオール組曲 ショスタコーヴィチ作曲 弦楽四重奏曲第 8 番ハ短調 (以上予定)</p> <p>※1 月 13 日に「初春コンサート」を開催</p>

### 3. 青少年オーケストラキャンプの開催

「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」(TYOC)は、全国から集まった青少年が「自分たち自身の手による運営」をモットーに演奏技術を学ぶ合宿研修会です。現在は2年を1期とし、2年目には「日本青少年交響楽団特別演奏会」として成果を発表しています。次代を担う青少年が、プロの演奏家として第一線で活躍している講師陣の指導のもと、音楽技術の向上を図り、各自の所属するオーケストラの未来のリーダーとなるべき資質を養います。

昭和60年の第1回から昨年度の第34回まで、TYOCから巣立った青少年は延べ5,900名を超え、我が国のアマチュアオーケストラの中核を担う人材として全国各地で活躍中です。

<平成31年度実施計画>

名称	第36回トヨタ青少年オーケストラキャンプ
期間	平成32年3月26日(木)～29日(日)
会場	東京都葛飾区 かつしかシンフォニーヒルズ 東京都新宿区 東京オペラシティ コンサートホール
内容	指揮：尾高忠明 講師：三浦章宏 (Vn 東京フィル) 他16名 (予定) 曲目：ショスタコーヴィチ作曲 交響曲第5番ニ短調 ベートーヴェン作曲 交響曲第5番ハ短調 他 ※3月29日に「東京オペラシティ コンサートホール」にて 「日本青少年交響楽団特別演奏会」を開催

### 4. トヨタコミュニティコンサートの開催支援

「トヨタコミュニティコンサート」(TCC)は、“音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること”を目的に、トヨタ自動車株式会社並びに各地域のトヨタ販売会社グループと連携し、JAO加盟のオーケストラの公演を支援して開催される演奏会で、次の3つの方式があります。

A1方式は、地域ニーズを反映し、オーケストラにとってチャレンジングで、地域への広がりを持つ企画内容の「チャレンジ公演型」コンサート。

A2方式は、山間部や離島あるいは福祉施設など生演奏を聴く機会の少ない方々のもとへの「移動・訪問型」コンサート。

B方式は、生演奏を聴く機会が少ない児童や高齢者、障害のある方などを招待する「招待型」コンサートです。

昭和56年の第1回開催から平成31年3月までの38年間の公演回数は、1674回を数えます。

平成 31 年度は、上記の各方式に次の 3 つの企画を重点テーマとして演奏会企画に色濃く反映した演奏会を開催することを要件といたしました。

- ・東京 2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会の盛り上げコンサート
- ・“ダイバーシティ&インクルージョン” 視点を取り入れた企画
- ・アマチュアオーケストラ独自の課題や地域のいろいろな課題に新たに取り組むコンサート

これらをふまえ平成 31 年度は、A1 方式（チャレンジ公演型）2 公演、A2 方式（移動・訪問型）11 公演、B 方式（招待型）30 公演が開催される予定です。

## 6. ホームページを活用した広報活動の推進

JAO は、活動方針、年間事業、全国各地のオーケストラの活動状況、国際交流事業等、広範囲にわたる情報を収集し、ホームページにて提供しています。国内の地域活動はもちろんのこと、世界のアマチュアオーケストラに関するホームページにもリンクしています。

平成 31 年度も、会員及び提携する団体等からの情報収集に積極的に取り組み、収集した情報をホームページや Facebook にて随時広く一般に提供してまいります。

## 7. 国際交流活動の推進

JAO は、平成 10 年の「世界アマチュアオーケストラ連盟」（WFAO）結成において中心的な役割を果たし、世界各国のアマチュアオーケストラの活動と交流を幅広く支援する組織として平成 19 年に設立された「認定 NPO 法人世界アマチュアオーケストラ連盟」（NPO-WFAO）と積極的に提携し、国際交流活動を推進しております。

平成 31 年度は、「ドイツアマチュアオーケストラ連盟」（BDLO）と JAO との提携により、BDLO が主催する「オーケストラのためのワークショップ」（於 ドイツ連邦共和国バイエルン州アルテグロフスハイム 6 月開催）へ JAO から 10 名が参加し、JAO が主催する「第 47 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル久留米大会」へは BDLO から 10 名の参加者を受け入れる予定です。

また、NPO-WFAO の協力を得て行う活動としては、「第 47 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル久留米大会」及び「第 36 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ」へ、それぞれアジア各国及びノルウェーから参加者 10 名以上を受け入れる予定です。

## 平成31年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

## 収支予算書（正味財産増減計算ベース）

（平成31年4月1日から平成32年3月31日まで）

（単価：円）

科 目	平成31年度	平成30年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
（1）経常収益				
① 基本財産運用益	15,000	15,000	0	
基本財産受取利息	15,000	15,000	0	定期預金利息
② 受取入会金	60,000	30,000	30,000	
受取入会金	60,000	30,000	30,000	新規2会員
③ 受取会費	8,850,000	8,700,000	150,000	
正会員受取会費	6,850,000	6,750,000	100,000	137会員
賛助会員受取会費	2,000,000	1,950,000	50,000	23会員
④ 事業収益	16,720,000	16,216,000	504,000	
公1事業収益	16,720,000	16,216,000	504,000	入場料・参加料・広告料
⑤ 受取補助金等	27,300,000	25,122,000	2,178,000	
受取地方公共団体補助金	2,800,000	1,500,000	1,300,000	福岡県、久留米市
受取民間助成金	24,500,000	23,622,000	878,000	トヨタ自動車、ガステックサービス 他
⑥ 雑収益	180,000	175,060	4,940	
受取利息	0	60	▲60	
雑収益	180,000	175,000	5,000	懇親会費
経常収益計	53,125,000	50,258,060	2,866,940	
（2）経常費用				
① 事業費	50,695,000	47,214,793	3,480,207	
役員報酬	2,880,000	2,880,000	0	
給料手当	3,840,000	3,840,000	0	
臨時雇用賃金	390,000	472,200	▲82,200	
法定福利費	730,000	730,000	0	
福利厚生費	6,170,000	6,212,786	▲42,786	
会議費	550,000	1,238,324	▲688,324	
旅費交通費	15,150,000	13,023,233	2,126,767	
通信運搬費	940,000	1,200,241	▲260,241	
消耗品費	1,090,000	1,565,923	▲475,923	
印刷製本費	1,150,000	1,032,300	117,700	
光熱水料費	150,000	150,000	0	
賃借料	9,110,000	6,714,862	2,395,138	
保険料	50,000	50,000	0	
諸謝金	7,570,000	7,175,661	394,339	
広報費	410,000	187,154	222,846	
雑費	515,000	742,109	▲227,109	

科 目	平成31年度	平成30年度	増 減	備 考
② 管理費	6,180,000	6,175,000	5,000	
役員報酬	720,000	720,000	0	
給料手当	960,000	960,000	0	
法定福利費	180,000	184,000	▲4,000	
福利厚生費	70,000	101,000	▲31,000	
会議費	700,000	670,000	30,000	
旅費交通費	1,400,000	1,420,000	▲20,000	
通信運搬費	250,000	250,000	0	
消耗品費	100,000	120,000	▲20,000	
印刷製本費	240,000	243,000	▲3,000	2019年度版JA0関係資料
光熱水料費	50,000	40,000	10,000	
賃借料	800,000	766,000	34,000	
保険料	10,000	6,000	4,000	
租税公課	250,000	225,000	25,000	
雑費	450,000	470,000	▲20,000	
経常費用計	56,875,000	53,389,793	3,485,207	
当期経常増減額	▲3,750,000	▲3,131,733	▲618,267	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲3,750,000	▲3,131,733	▲618,267	
一般正味財産期首残高	7,561,640	10,693,373	▲3,131,733	
一般正味財産期末残高	3,811,640	7,561,640	▲3,750,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	44,400,000	44,400,000	0	
指定正味財産期末残高	44,400,000	44,400,000	0	
III 正味財産期末残高	48,211,640	51,961,640	▲3,750,000	

平成31年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

収支予算書内訳表（正味財産増減計算ベース）

（平成31年4月1日から平成32年3月31日まで）

（単価：円）

科 目	公益事業会計 （公1事業）	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
① 基本財産運用益	15,000	0	15,000
基本財産受取利息	15,000	0	15,000
② 受取入会金	0	60,000	60,000
受取入会金		60,000	60,000
③ 受取会費	0	8,850,000	8,850,000
正会員受取会費		6,850,000	6,850,000
賛助会員受取会費		2,000,000	2,000,000
④ 事業収益	16,720,000	0	16,720,000
事業収益	16,720,000		16,720,000
⑤ 受取補助金等	27,300,000	0	27,300,000
受取地方公共団体補助金	2,800,000		2,800,000
受取民間助成金	24,500,000		24,500,000
⑥ 雑収益	0	180,000	180,000
受取利息	0	0	0
雑収益	0	180,000	180,000
経常収益計	44,035,000	9,090,000	53,125,000
（2）経常費用			
① 事業費	50,695,000		50,695,000
役員報酬	2,880,000		2,880,000
給料手当	3,840,000		3,840,000
臨時雇用賃金	390,000		390,000
法定福利費	730,000		730,000
福利厚生費	6,170,000		6,170,000
会議費	550,000		550,000
旅費交通費	15,150,000		15,150,000
通信運搬費	940,000		940,000
消耗品費	1,090,000		1,090,000
印刷製本費	1,150,000		1,150,000
光熱水料費	150,000		150,000
賃借料	9,110,000		9,110,000
保険料	50,000		50,000
諸謝金	7,570,000		7,570,000
広報費	410,000		410,000
雑費	515,000		515,000
② 管理費		6,180,000	6,180,000
役員報酬		720,000	720,000
給料手当		960,000	960,000
法定福利費		180,000	180,000
福利厚生費		70,000	70,000
会議費		700,000	700,000
旅費交通費		1,400,000	1,400,000
通信運搬費		250,000	250,000
消耗品費		100,000	100,000
印刷製本費		240,000	240,000



科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
光熱水料費		50,000	50,000
賃借料		800,000	800,000
保険料		10,000	10,000
租税公課		250,000	250,000
雑費		450,000	450,000
経常費用計	50,695,000	6,180,000	56,875,000
当期経常増減額	▲6,660,000	2,910,000	▲3,750,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
什器備品廃棄損			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲6,660,000	2,910,000	▲3,750,000
一般正味財産期首残高	952,817	6,608,823	7,561,640
一般正味財産期末残高	▲5,707,183	9,518,823	3,811,640
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	44,400,000	0	44,400,000
指定正味財産期末残高	44,400,000	0	44,400,000
III 正味財産期末残高	38,692,817	9,518,823	48,211,640